

警 報

2 農産第 7 3 1 号

令和 2 年 9 月 1 0 日

関係各位

京都府農林水産部長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

病害虫発生予察警報第 1 号

作物名 水稻（晩生：ヒノヒカリ）
病害虫名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 南丹地域及び山城地域
- 2 加害時期 収穫期まで
- 3 発生量 平年比多い
- 4 警報発令の根拠

- (1) 9月上旬に実施した緊急調査では、トビイロウンカの成幼虫（写真1、2）を、府内44ほ場中39ほ場（山城：20、南丹10、中丹4、丹後5、（発生ほ場率：88.6%、山城及び南丹は100%））で確認した（表）（+）。
- (2) 特に山城地域では、中発生以上のほ場を複数確認している。また、坪枯れ被害（写真3）も確認している（+）。
- (3) 注意報（令和2年8月26日発表第3号）発出後も本虫の発生量は増加し、8月中旬～9月上旬の約2週間で、発生圃場率は約3倍、10株当たり成幼虫数は84倍（短翅成虫：20倍、幼虫数：174倍）と、急激に増加している（+）。
- (4) 8月末から9月上旬にかけて、山城地域及び南丹地域の複数の水田での坪枯れ被害が確認されている（+）。
- (5) 向こう1か月の平均気温は高いと予想されている（+）。



写真1 長翅型成虫



写真2 短翅型成虫と幼虫



写真3 坪枯れ症状

表 トビイロウンカ調査結果

調査日：9月3日～8日

地域	調査地点		25株見取り・払い落とし調査						坪枯れ
			寄生 株率	成虫		幼虫	合計	程度*	
				長翅	短翅				
山城	京都市南区久世	1	60.0	24	11	0	35	少	
	"	2	64.0	57	4	2	63	少	
	京都市伏見区久我	1	56.0	51	22	14	87	少	
	"	2	80.0	46	10	6	62	少	
	向日市物集女	1	60.0	28	8	8	44	少	
	"	2	100.0	152	44	217	413	中	
	長岡京市長法寺	1	72.0	43	11	125	179	中	
	"	2	80.0	85	13	266	364	中	
	長岡京市奥海印寺	1	100.0	254	130	253	637	多	○
	"	2	100.0	141	91	27	259	中	
	京田辺市南田	1	68.0	42	10	9	61	少	
	"	2	76.0	25	18	4	47	少	
	城陽市青谷	1	24.0	6	0	0	6	少	
	"	2	16.0	4	1	0	5	少	
	井手町多賀	1	96.0	28	50	33	111	少	
	"	2	92.0	47	24	44	115	少	
	精華町菅井	1	92.0	101	58	147	306	中	
	"	2	100.0	104	76	242	422	中	
木津川市山城町上狛	1	64.0	12	30	12	54	少		
"	2	100.0	62	43	133	238	中		
平均		75.0	66	33	77	175	中	1/20	
南丹	亀岡市本梅町	1	88.0	50	28	28	106	少	
	"	2	64.0	8	12	5	25	少	
	南丹市八木町本郷	1	32.0	8	0	3	11	少	
	"	2	16.0	4	0	0	4	少	
	南丹市八木町美里	1	92.0	46	6	41	93	少	
	"	2	88.0	44	7	48	99	少	
	南丹市園部町船岡	1	56.0	33	2	32	67	少	
	"	2	60.0	14	7	14	35	少	
	南丹市日吉町志和賀	1	8.0	1	2	0	3	少	
"	2	20.0	2	5	0	7	少		
平均		52.4	21	7	17	56	少	0/10	
中丹	綾部市栗	1	0.0	0	0	0	0	無	
	"	2	44.0	16	1	2	19	少	
	福知山市大内	1	16.0	1	1	3	5	少	
	"	2	0.0	0	0	0	0	無	
	舞鶴市志高	1	4.0	0	0	1	1	少	
	"	2	8.0	3	0	0	3	少	
平均		12.0	3	0	1	5	少	0/6	
丹後	与謝野町三河内	1	0.0	0	0	0	0	無	
	"	2	4.0	1	0	0	1	少	
	京丹後市丹後町徳光	1	0.0	0	0	0	0	無	
	"	2	8.0	2	1	0	3	少	
	京丹後市丹後町成願寺	1	4.0	1	0	0	1	少	
	"	2	4.0	1	0	0	1	少	
	京丹後市弥栄町鳥取	1	4.0	1	0	0	1	少	
"	2	0.0	0	0	0	0	無		
平均		3.0	1	0	0	1	無	0/8	

*：発生程度別基準

程度	無	少	中	多	甚
25株当たり虫数	0	1～125	126～500	501～1250	1251以上

5 防除上の留意事項

- (1) 防除の目安は株当たり成幼虫が5頭以上です。
- (2) トビイロウンカは成虫・幼虫とも株元に多く生息します。発生状況は、ほ場の中に入っ、株元をかき分けて確認してください。
- (3) 粒剤の田面施用では、散布前に田に入水して施用し、入水後数日間は湛水状態を保つようにしてください。粉剤・液剤で防除を行なう場合には、株元に薬剤が十分届くように散布する事が重要です。なお、防除の際には、ほ場外に農薬が飛散しないよう十分に注意してください。
- (4) 農薬の使用にあたっては使用基準を遵守してください。収穫期が近いので、特に収穫前使用日数や使用回数に注意が必要です。

6 その他

- (1) トビイロウンカの警報は、昭和62年以來33年ぶりの発表
(参考) 昭和62年の山城地区発生状況は次のとおり
8月第4半旬 確認ほ場率：72.7%、虫数：37.3頭
9月第4半旬 確認ほ場率：81.8%、虫数：66.1頭
- (2) 収穫時期が迫り、薬剤防除ができないほ場で坪枯れ被害を生じた場合は、できる限り早く収穫してください。